

長野陸協 会報

NAA
Nagano Athletics Association
一般財団法人長野陸上競技協会

2025.12.15
vol. **185**

第79回 滋賀 わたSHIGA輝く国スポ 2025

陸上競技種目別天皇杯得点6位

(1978年長野やまびこ国体2位以来の入賞)

同皇后杯得点2位

(2016年岩手国体6位以来の入賞)



閉会式後の長野県選手団



秩父宮章 萩原清会長



左 名取 和訓女子監督
右 中津 敦喜男子監督

スポーツくじ

WINNER LOTTO BIG

すべてのスポーツにエールを

スポーツくじの収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。

長野陸協会報はスポーツ振興くじの助成を受けて発行しています

(写真はすべて当協会提供)



文部科学大臣表彰

「生涯スポーツ功労者」

せんだい けいすけ

千代 馨脩 さん (諏訪支部 91歳)



当協会顧問、元副会長・副理事長・広報部長他強化部コーチとして長期にわたり、駅伝や競歩競技一線級の選手強化や青森～東京間駅伝総監督を歴任。

特に審判委員長(H5～H10)として各種競技会運営の効率化、審判員の養成並びに審判技術向上に尽力

された。また、社会体育振興のための積極的な活動の傍ら、県・南信陸協並びに諏訪支部(茅野・諏訪～岡谷地域)で開催される各種陸上競技大会や事業に審判員や指導者として、社会体育振興の実践に貢献され、これらのご功績が認められ表彰された。

「生涯スポーツ優良団体」 長野陸上競技協会 安曇野支部

代表者 会長 板花 利美さん



設立：S28年4月1日
構成：5団体、216名
2023-24年度主催事業、教室開催数：21回

小学生対象「安曇野かけっこ」、中学生以上対象の「安曇野AC」では、広く地域の陸上愛好者、競技者の育成に当たり、特に、「安曇野AC」は陸協が主体と

なる地域クラブの県内の先駆的な組織であり、早くから中学生の部活動から地域クラブの移行への受け皿となっている。

毎年開催される「安曇野市子ども駅伝」、11回を迎えた「信州安曇野ハーフマラソン」にはプレ大会から関わり、ともに魅力的な大会を目指し運営を担当している。主催競技会では、小学生の参加種目設定等の特徴を出し、観客が間近で競技を観戦できる環境を整えるなど参加し楽しむことにとどまらず、見て楽しむ陸上競技の普及にも努め、地域の陸上競技の魅力度向上への貢献が、今回の表彰に繋がった。



日本陸上競技連盟栄章

「秩父宮章」

はぎわら きよし

萩原 清 さん (松本支部 74歳)



会長 2016年11月就任
東海陸上競技協会会長

会長就任直後から諸課題に前向きに取り組み成果を高められた。特に、財政安定のための協賛企業の獲得、2028年国民スポーツ大会メイン会場となる松本平広域公園陸上競技場の改修について、元競技場を解体し跡地に配置する案の採用に先

陣を切って取り組み、「陸上競技のための陸上競技場」の建設を実現。その後、円安、資材高騰による追加予算の獲得や建設関係者の労働力不足への対応などに尽力されている。松本深志高校2年次の昭和42年埼玉国体少年男子やり投で4位入賞。

「少年少女陸上競技指導者表彰」 (安藤百福記念章)

まつむら さとる

松村 覚 さん (飯伊支部 60歳)



地元飯田市で2002年に「イイダッシュAC」を立ち上げ、地域の小学生、中学生を指導し、全国小学生陸上競技交流大会や全日本中学校陸上競技大会に出場する競技者をはじめ数多くの競技者を育成している。

また、当協会普及部コーチ・南信担当として南信地域の陸上競技

普及にも努めている。更に、飯伊支部では長年に渡り普及強化部に所属し、飯田下伊那地域の小中学生の陸上競技の競技力向上や普及に大きく貢献している。

これらの地道な活動が評価され、今回受章された。

＜文部科学大臣表彰は10月14日、秩父宮章は10月4日、少年少女陸上競技指導者表彰は11月2日にそれぞれ行われた。写真はいずれも会員提供、一部修正加工。＞



日本スポーツ協会

「令和7年度 公認スポーツ指導者等表彰」 「永年表彰」

やまぐち まこと

山口 誠さん（上田支部 62歳）

山口さんは、当協会「指導者功績章」を1996(H8)年、日本陸上競技連盟「高校優秀指導者章」を2012(H24)にそれぞれ受章され、2000年に日本スポーツ協会・日本陸上競技連盟公認指導者資格「陸上競技コーチ3」取得後25年の永きにわたり、スポーツの指導・競技者育成及び協会組織化等に尽力されるなど、これらの顕著なご功績が認められ、長野県スポーツ協会から推薦され、11月22日に表彰されました。



小澤 虎雄 顧問を囲んで

(後列左から 松本支部田澤稔理事長、内山了治会長代行、松本支部中原信一顧問、同小幡泰俊会長)

ている」とのことでした。1956(S31)年4月1日に審判資格を取得し今年で69年、70歳過ぎまでは記録員等審判業務を担当していたそうです。協会運営で一番苦労したのは1964(S39)年からの総務部長時代に、各支部へ県陸協からの通知、登録証等を郵送した作業だったと述懐されました。ますますお元気で、最高齢登録者の更新をお願い申し上げました。



長野陸上競技協会

「特別賞」

おざわ とらお

小澤 虎雄さん（松本支部 99歳）

当協会顧問、元副会長他。今年度100歳を迎えられる最高齢審判員登録者に、長寿のお祝いとして「特別賞」を敬老の日の翌日(9月16日)に贈呈しました。

小澤さんは、『陸協会員の責任』として審判登録を続けている、健康の秘訣は『よく食べよく寝る』こと、運動は毎朝5時に起床し、ストレッチや自転車マシン(20分～30分)など合計1時間(約1500歩)ほど行っ

-世界に挑戦- 香港 2025 U20 東アジア陸上競技選手権大会

期日：9月27日(土)～28日(日) 会場：中国・香港

法政大学1年 小口 蒼葉(東海大諏訪高出身)

110mH(99.0cm)予選13.62(+2.3) (1組1着) 9/27

決勝13.42(+3.4) **銅メダル** 9/27

初の国際試合という緊張感の中でも、自分の力を出し切り、銅メダルを獲得することができ嬉しく思っています。今回の経験を通して、海外選手のレベル



の高さや環境の違いを肌で実感することができ、今後の成長に大きな刺激となりました。長野陸協様からの温かいご支援、そして今回いただいた褒賞金に心より感謝申し上げます。今回の経験を糧に、今後も成長できるよう取り組んでいきます。

(写真：本人提供)

長野東高校3年 真柴 愛里

女子5000m 16:44.83 **銀メダル**

U20東アジア陸上競技選手権大会に日本代表として出場する機会をいただき、心より感謝しています。

レースでは暑さへの対応などコンディショニングをうまく合わせることでできず力を出し切れませんでしたが、今まで自分が経験したことのないような世界を見ることができ、とても勉強になりました。長野陸上競技協会をはじめ、これまで支えてくださった方々に恩返しできるよう、今後も努力を重ねていきます。本当にありがとうございました。

(右は優勝した名城大 細見 芽生さん：日本陸連提供)





【会員外からの情報】2025 Jumping Festa in NAGANO-OCS 開催

陸上でスポーツ界、ニッポンを変えていく

～陸上でスポーツ界、ニッポンを変えていく～

公益財団法人日本陸上競技連盟

事業部 照井 大介

日本陸上競技連盟では、2017年に「JAAF VISION」において「ウェルネス陸上の実現（すべての人がすべてのライフステージにおいて陸上競技を楽しめる環境をつくる）」をミッションの一つとして策定、そして2022年には中長期計画「JAAF REFORM」内で、「参加機会の提供」「ファン拡大」「ファミリーサービス」の3つを具体的なアクションプランとして発表しました。

「RIKUJO JAPAN」は、ビジョン達成時に広がる「ワクワクする未来」をより明確に描き、「マザー・オブ・スポーツ」である陸上が陸上界に留まらず、スポーツ界や日本社会に影響を与えるポテンシャルを備えていること、「アスレティックファミリー」みんなが主体者となってその未来を創っていくための旗印として、2024年に誕生しました。

東京2025世界陸上を通して多くの方々に陸上の魅力が伝わったいま、その余熱を冷まさないことはウェルネス陸上の実現に向けて必要不可欠であり、実際に陸上へ触れられる場や機会を創出することに一層注力しております。

その中で「2025 Jumping Festa in NAGANO-OCS」はRIKUJO JAPANを体現した、大変意義深い機会でした。僭越ながらオープニングで挨拶をさせていただいた際、参加する子どもたちへ東京2025世界陸上の視聴有無を尋ねたところ、全員が「はい！」と手を挙げたことが印象深く、その子どもたちが日本トップ選手と触れ合い、実際に競技を楽しんだ経験は、かけがえのないものになったことでしょう。また、国宝・善光寺へ向かう一本道沿いである、ながの表参道オリンピックスクエアで最高2メートルの高さをジャンプする走高跳選手の姿を披露したことは、思わず足を止めた一般の方々にも、確かに陸上の魅力が伝わったことと思います。

こうした取組が「RIKUJO JAPAN」という言葉を媒介に、日本全国で行われていくことで、「ワクワクする未来」は間違いなく実現できると感じた1日でした。その先駆けとして初開催に至るまでご尽力いただいた長野陸上競技協会さま、ならびに自身が主催するJUMP FESTIVALのノウハウを惜しみなく共有された衛藤昂選手、勝田将選手、そして参加いただいた皆様へ深く御礼申し上げます。

☆RIKUJO JAPAN レポートはQRコード

下記URL でご覧下さい

<https://www.jaaf.or.jp/rikujo-japan/event/21/>

クリニック講師

衛 藤 昂

(神戸デジタル・ラボ)

街中での走り高跳びという特別な舞台で、子どもたちは雨にも負けず集中して取り組み、跳ぶ楽しさを全身で感じてくれたのが印象的でした。

午後の競技会では、選手たちが楽しそうに跳び、お客さんも徐々に増えて会場が賑わっていく様子に心が温まりました。

この日の経験が、子どもたちや選手、お客さんの記憶に残り続けてくれたら嬉しいです。

準備や運営に尽力された関係者の皆様、本当にありがとうございました。



三重県出身

鈴鹿工業高等専門学校

筑波大学大学院

自己ベスト2m30

<主な代表歴>

オリンピック:20東京

16リオデジャネイロ

世界選手権:19ドーハ

17ロンドン、15北京

アジア大会:18ジャカルタ、14仁川

【大会概要】

期 日	10月11日(土)
内 容	午前 小学生対象クリニック(23名) 午後 走高跳競技会(中学生以上男女13名)
会 場	ながの表参道セントラルスクエア
主 催	長野陸上競技協会 長野市陸上競技協会
後 援	長野市 信濃毎日新聞社 信越放送株式会社 長野商工会議所
支 援	ながの観光コンベンションビューロー
協 力	日本陸上競技連盟
協 賛	ミズノ株式会社 日清食品株式会社 大塚製薬株式会社 株式会社アイワ徽章 三水丸山農園

◎スポーツ振興くじの助成を受けて実施しました

【この事業のねらい、コンセプト等】

- 陸上を単なる競技で終わらせず、陸上の価値を伝え広める…日本陸連の協力を得て実施する
- スポーツの価値の可視化を具現する
- 走高跳・走の競技力向上
- 「走」はジャンプの連続であり、「速く走る」ためにはその質を理解し身体で覚えることが必要
- 街中の走高跳で、観客を集めることができるか？
- 『集客』は2028国スポ成功に必須、今回、街中でどれだけ集客できるか、国スポの試金石
- この時期、競技会並びに運営で理事・委員は手一杯のため、業務増加にならないよう配慮する

(以上、代表理事 内山 了治)



競技会：2mを1回で軽々クリアーした勝田将選手

クリニック講師・競技参加 三重教員AC 勝田 将



三重県出身
鈴鹿工業高等専門学校
皇學館大学
自己ベスト2m24
<日本選手権>
2023 4位2.20
2024 5位2.15

午前の陸上教室での指導をとおして、子どもたちが一生懸命に練習する姿や終始楽しそうな笑顔から「陸上競技や走高跳、体を動かすことが好き」というまっすぐな気持ちを感じました。その姿にエネルギーをもらいと同時に、私自身の初心（「跳ぶこと・陸上競技は楽しい」）を長野の地で思い出すことができ、大変貴重な時間を過ごすことができました。

そして何より記録会でも、バーを跳び越える楽しさ、跳び越えられた時の快感、どんどん高くなるバーへの挑戦等、走高跳の魅力を楽しんでいる子どもたちの様子が喜ばしかったです。私自身の1つの使命を成し遂げられたのではないかと思います。

午後の競技会は、善光寺への通り道ということもあり、老若男女問わず、また海外旅行者等、通りすがりの方も足を止めて、声援を送っていただけました。雨も降り少し肌寒い天候でしたが、それを忘れさせる温かい観客の声援と心強い大きな手拍子の中、気持ちよく・楽しく跳ぶことができました。2mをクリアーした後の会場が1つになった歓声も長野の地における特別な瞬間でした。とても貴重な競技会、経験をさせて頂きましてありがとうございました。

(写真はすべて長野陸協提供)



参加者のコメント 若穂RCジュニア 塚田 猛

午前中の小学生クリニックでは3年男子がお世話になり、中1女子選手もお手伝いしながら聞き耳を立てておりました。おかげさまで、二人ともとても楽しかった様子で、応援に来た仲間もその保護者も抽選会で賞品をゲットし、走高跳びも「間近ですごいもの見ちゃった」と満足して帰宅しました。

街中陸上はとても新鮮で斬新で、中央通り往來の観光客と思われる方々にも好評でした。善光寺さんまで、または駅までの「ちょっと休憩」にちょうど良い位置だったと思われ、声をかけると、椅子にかけてくださる方が多くいました。

当日、私が話した競技役員では「もうやりたくない」は皆無で、逆に来年は丸の内で行われた30mダッシュや、棒高跳もあれば良いね！と盛り上がりおりました。次回も都合が合えばぜひお手伝いさせてください。ありがとうございました。

☆信濃毎日新聞社掲載記事

<https://www.shinmai.co.jp/news/article/CNTS2025101200054>



東京 2025 世界陸上競技選手権大会 — 審判業務 —

本県からは世界陸連ブロンズレフリーの資格を取得された 3 名の方が選抜され、それぞれの審判業務についてご寄稿いただきました。9 日間、お疲れ様でした。



左から青柳さん、金田さん、織茂さん、写真は青柳先生提供

4 年前の忘れ物を取りに…スターター

青柳 智之(松本支部 松本市立波田小学校教員)



東京オリンピック・パラリンピックに続き、東京 2025 世界陸上でもスターターを務めさせていただきました。このタイミングとチャンスに本当に感謝しかありません。

今回は 4 名の国内スターターに、国際スターター(カナダ)を加えた 5 名で全てのレースを担当しました。オリンピックの 6 名体制より少ない人数での業務で、「200m をスタートさせて、次の 400m スタートまで裏通路をダッシュで移動」ということが珍しくない、なかなかハードな 9 日間でした。

オリパラを経験させていただいたので過度な緊張も全くなく、スタート前のピリピリした空気すら楽しむ余裕がありました。そしてやはり 4 年前との大きな違いは、58,000 人を超える観客の中にいられたことです。あの地響きのような歓声は、陸上関係者として涙が出るほど嬉しいものでした。そして自分自身、400mH の選手としてはへボかったのですが、世界選手権でその種目の引き鉄を引けたことは、神様からのプレゼントだと思っています。

WA、そして国際スターターから、新たな知見を得ることができました。陸連競技運営委員会等の検討を経て、皆さまにもお伝えしていければ…と思っています。

(写真はご本人提供)

NAR の一員として東京世界陸上 2025 へ参加して

金田 華実(長野支部 長野高専教員)

私は TIC 部署を仰せつかりました。業務内容は競技時の資料整理や投擲物申請対応、各種パスの管理、ロード競技の計測器配布など、多岐に渡りました。中でも V-TIC の運用は新鮮でした。業務地も選手村や w-



up 会場に赴くこともあり、様々な部署の NAR 審判員、WA の皆様と関わる機会を頂きました。複数言語が飛び交い戸惑う場面もありましたが、同部署の方々に支えて頂き、円滑な競技進行の為に随時更新される運用にも毎日緊張感を持ちながらチームの一員として業務に当たることができました。

競技の様子は室内まで響く大声援で感じとる時間が殆どでしたが、あの一体感は生涯忘れられないと思います。貴重な機会を頂いたことに、心より感謝申し上げます。

(写真はご本人提供)

東京 2025 世界陸上へ NAR として参加して

織茂 大地(松本支部 松本国際高校教員)

私は、今回東京 2025 世界陸上に NAR として PECA (ボストイベントコントロールエリア) を担当しました。

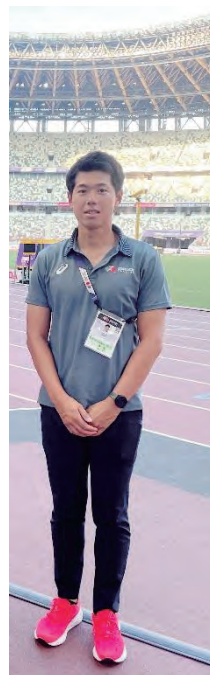
PECA はミックスゾーンの先にあり、AD カードや荷物の返却などを行うエリアです。

また、ドーピングの告知やシューズチェックも行われます。県内の大会では存在しないような部署であり私自身も事前に業務のイメージが掴めず、WA により前日夜にエリアのレイアウトが変更になるなど落ち着きなく大会が始まっていきました。

競技が始まると、決勝進出をお互いに称えあう選手や予選通過できずに泣きながら PECA に入ってくる選手など、競技が観られない中でもこの大会へ選手の懸けてきた思いを感じることができました。

貴重な経験をありがとうございました。

(写真は青柳先生提供)



全国大会結果 ―滋賀国スポ種目別男女6位、女子2位―

第79回滋賀国スポ 陸上競技大会

普及強化委員長 横打 史雄

監督 中津 敦喜 名取 和訓

この度は滋賀国スポへの選手、スタッフの派遣にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。下記のとおり、おかげさまで、種目別天皇杯得点第6位(1978年長野国体2位以来)、皇后杯得点第2位(2016年岩手国体6位以来)、入賞数20と目標を上回る

成果を収めました。特に成年女子400mハードル優勝をはじめ、多くの選手が入賞や自己記録を更新し「チーム長野」が輝く場となりました。これもひとえに関係各校・各企業、協会会員の皆様のご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

今後も2026青森国スポ、2027宮崎国スポ、2028信州やまなみ国スポに向けて更なる強化に努めてまいります。今後とも一層のお力添えをお願い致しまして、結果報告とお礼のご挨拶とさせていただきます。

		期 日				令和 7 年 1 0 月 3 日 (金) ～ 7 日 (火)				場 所				彦根市 平和堂HAT0スタジアム (彦根総合スポーツ公園陸上競技場)			
		監督		中津 敦喜		飯田OIDE長姫高校教員		男子主将		児玉 悠作		ノジマT&FC					
				名取 和訓		諏訪二葉高校教員		女子主将		中村 綾花		日本体育大学					
種	種目	選手		所属・学年		予選記録		順位	準決勝記録	順位	決勝記録	順位	得点	備考			
男 子	成 年	100m	福澤 耀明	東海大学	3										怪我により欠場		
		100m	デーデー・ブルーノ	セノー		欠場									100m差替え、怪我により棄権		
		300m	鈴木 慎吾	東海大学	2	33.98	4										
		800m	川元 奨	スギキ		1:49.47	2				1:47.32	7	2				
		110mH	小口 蒼葉	法政大学	1	14.03(-0.2)	4										
		400mH	児玉 悠作	ノジマT&FC		50.25	2				49.84	6	3				
		3000mSC※	加藤 結羽	佐久長聖高校	3						8:45.77PB	5	4				
		円盤投	北村 将也	同志社大学	03						49.49	10					
	少 年 A	100m	丸山 竜平	長野日大高校	3	10.70(+0.5)	3	10.65(+0.4)	4								
		300m	江間 諒太郎	佐久長聖高校	3	34.19	4										
		5000m	酒井 崇史	佐久長聖高校	3						13:55.96PB	10					
		300mH	相場 遥心	佐久長聖高校	3	36.59PB	3				35.98PB	3	6	決勝：県&高校新			
		5000mW	井上 俊弥	長野日大高校	3						20:19.72		7	大会新記録			
	少 年 B	100m	中村 悠人	赤穂高校	1	11.04(+0.5)	4	11.13(+0.7)	8								
		3000m	伊藤 遼	佐久長聖高校	1	8:25.94	4				8:22.92	8	1				
	少 共	110mH (0.991)	相場 遥心	佐久長聖高校	3	13.66(+0.7)	2				13.63(+0.7)	6	3				
			成・少年共通4x100m				予選・準決：鈴木/デーデー/中村/丸山		39.61	1	DNF						
	女 子	成 年	100mH	中津 晴葉	佐久長聖高校教員7777	13.76(+0.6)	4										
400mH			南澤 明音	松本土建	58.16	1				56.96	1	8					
10000mW			中村 綾花	日本体育大学	4					45:53.06PB	3	6	県新				
走高跳※			星野 紗菜	佐久長聖高校	3					1.73PB*1	7	1					
棒高跳			岡田 莉歩	日本体育大学	2					3.80*2	8	0.33					
やり投			倉田 紗優加	慶應義塾大学	3					56.05	5	4					
少 年 A		100m	中村 波南	佐久長聖高校	2	11.92(+1.1)	2	11.81(+0.8)	1	11.80(+0.8)	4	5	準決・決勝：県高校新/PB				
		300m	鎌倉 梨々華	佐久長聖高校	2	38.92	1			38.96	3	6					
		3000m	川上 南海	長野東高校	2					9:04.22PB	2	7					
		300mH	阪 真琴	佐久長聖高校	2	42.11PB*3	1			41.44PB*4	3	6	U18日本新				
		2000mSC	角地 萌音	長野東高校	2					6:33.89PB	3	6	U20/U18日本新				
		5000mW	杉本 由乃香	長野東高校	2					23:57.80PB	10						
		三段跳	大森 玲花	佐久長聖高校	3					12.07(+0.4)	8	1					
少 B		1500m	原 梨珠	赤穂中学校	3	4:33.13	8										
少 共		100mH	阪 真琴	佐久長聖高校	2	13.63(+0.9)	2				13.68(+0.8)	5	4	予選：県&県高校新/PB			
混 合		成・少年男女混合4x400m		予選・決勝：児玉/南澤/江間/鎌倉		3:20.66	2				3:21.14	6	3	予選：県新			
得点 (素点)		成男9/少年17/成少男共0/成年19.33/少女35/成少女共0/混合3						男女合計得点 (素点)				83.33 点					
83.33 点		(成年28.33/少年52/成少共0/混合3)						天皇杯得点 (男女合計+参加点10)				93.33 点 6 位/47					
入賞数 20種目		(男子7/女子12)		(成年8/少年11/成少共0/混合1)				皇后杯得点 (女子合計+参加点10)				64.33 点 2 位/47					

PB:自己新記録、*1:7位3名のため2点+1点を3名で分配、*2:8位3名のため1点を3名で分配、*3:県&県高校新、*4:U18日本新、県&県高校新



中津敦喜監督

男女総合得点	女子得点
1位 兵庫 122	兵庫 68
2位 京都 110	長野 64.33
3位 福岡 103	神奈川 63
4位 大阪 96.5	大阪 61
5位 北海道 94	愛知 60.33
6位 長野 93.33	京都 59
7位 神奈川 92.5	福岡 56
8位 東京 92.33	北海道 51

(いずれも参加点10点を含む)



名取和訓監督



成年400mH 南澤さん



少年A3000m 川上さん



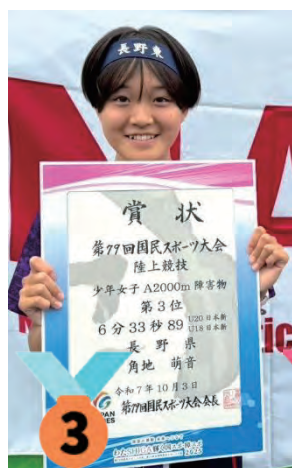
成年10000mW 中村さん



少年A300m 鎌倉さん



少年A100mH 阪さん



少年A2000mSC 角地さん



少年A5000mW 井上さん



少年A300mH 相場さん



成年800m 7位 川元さん



成・少年男女混合4×400m 左から児玉・南澤・江間・鎌倉さん・吉富コーチ



陸上競技表彰式の様子

優勝3回、入賞4回

通算エントリー11回



左から春原コーチ、相場・阪さん、下里コーチ

長野県選手団 監督・コーチ一覧

No.	氏名	所属	役職/担当ブロック	No.	氏名	所属	役職/担当ブロック
1	横打 史雄	長野東高校	委員長 女子長距離	12	掛川 和彦	丸子修学館高校	競歩
2	中津 敦喜	飯田OIDE高校	男子監督強化部長	13	宮尾 淳矢	長野高校	競歩
3	名取 和訓	諏訪二葉高校	女子監督強化副部長	14	林 知彦	長野吉田高校	走高跳
4	早川 恭平	佐久長聖高校	強化副部長ハートフル(短)	15	上杉 丈夫	松本深志高校	棒高跳
5	三代澤 芳男	松本蟻ヶ崎高校	庶務	16	荻原 信幸	松本美須々ヶ丘高校	跳躍
6	中嶋 良太	市立長野高校	短距離(短)	17	佐藤 賢一	須坂創成高校	三段跳
7	吉富 和弥	佐久長聖高校	短距離(長)	18	笹野 弘充	栄屋クリーニング	円盤投
8	山崎 豊茂	伊那中学校	中距離	19	村松 卓哉	岡谷南高校	やり投
9	高見澤 勝	佐久長聖高校	長距離	20	窪田 勝	くぼた整骨院	トレーナー
10	春原 夕子	野沢北高校	ハートフル(長)	21	野竹 康之	野竹接骨院	トレーナー
11	下里 直弥	松本国際高校	ハートフル(短長)リレー	22	土岐 一生	とき接骨鍼灸院	トレーナー

全国高校総体(広島県)を振り返って

長野県高体連陸上専門部 委員長
長野陸協理事 内堀 俊彦

2025年度全国高校総体が、広島市ホットスタッフフィールド広島で7/25～7/29の日程で行われました。

本県からは、男子12校・43名、女子9校・29名、合計72名の選手が参加しました。暑熱対策のため、開催3日前に、競技日程・方法等が変わり、大会期間中も、サブトラック等活動停止など、厳しい条件の中、選手たちは熱戦を繰り広げました。

そのような中、佐久長聖女子、総合2位をはじめ、延べ12種目の入賞を果たしました。鎌倉梨々華さん(佐久長聖)400m 54.94、阪真琴さん(佐久長聖)100mH 13.64、大森玲花さん(佐久長聖)七種競技4924点の3つの県高校新記録での入賞などを筆頭に暑い気候、急変する競技日程に対応し、参加選手全員が、全力で戦う姿が随所に見られました。

来年度は、滋賀県で全国高校総体が行われます。日本陸連より、プレスリリースがあったように、今後、全国大会の状況が不透明な中ではありますが、この大会を目指し、日々指導してくださっている各校顧問の先生方、様々な支援・協力をしてくださっている長野陸協、その他多くの関係機関に感謝を申し上げます。

(結果詳細は会報184号に掲載しました)

第52回 全日本中学校陸上競技選手権大会

長野県中体連陸上競技専門部 委員長
長野陸協理事 荒井 洋光

沖縄県総合運動公園陸上競技場(タピックひやごんスタジアム)8月17日(日)～20日(水)。

沖縄県では初めての開催となった全日中大会。熱中症や台風への対応など、長野県とは全く違う気候に悩まされました。特に2日目の夜から3日目の朝

【男子入賞者 1 種目 1 名】 PB：自己新				
種目	氏名	所属名・学年	記録	順位
四種競技	長峰 和真	浅間3	2748点	4
	110mH15.12(-1.2) 砲丸投11.18 走高跳1.77 400m51.33			
【女子入賞者 3 種目 6 名】				
四種競技	荻原 怜愛	軽井沢A&AC3	2830点	4
	100mH14.23(-1.0) 走高跳1.55 砲丸投9.08 200m26.70(-2.5)			
1500m	原 梨珠	赤穂3	4:31.61	5
4×100m	軽井沢A&AC(補欠：小野澤比奈矢3、塩野梨々2)48.51PB 4 荻原 推3、荻原 怜愛3、中嶋 優佳3、大瀧 らら3			
【女子決勝結果】				
走幅跳	柳平 想乃	ChinoAs2	5.30(1.9)	15
	安藤 凜	MSJAC3	5.13(2.5)	23
砲丸投	加藤 杏	南箕輪3	12.22	29
四種競技	山口 葵生	軽井沢A&AC1	2610	16
	100mH14.86(-1.0) 走高跳1.52 砲丸投9.34 200m28.14(-2.6)			
【男子予選・準決勝結果】				
種目	氏名	所属名・学年	記録	着順
100m	村上 悠	Mt. RexTC2	11.21(0.3)	4
	小野 颯馬	諏訪清陵附属3	11.40(-1.9)	6
	宮澤 知己	下伊那松川3	11.43(0.1)	7
	金澤 龍	アスティア3	11.34(-0.2)	8
	小山 拓士	高社3	11.27(2.2)	8
200m	佐藤 叶寅	岡谷南部3	23.40(-0.9)	6
400m	小林 悠	千曲坂城クラブ3	50.72	2
	洞 大和	安曇野AC3	50.74PB	3
	田中 翠人	白馬3	51.78	5
800m	松宗 士織	丸ノ内3	1:57.57PB	2
		TR	1:56.58PB	3
	善積 有太郎	駒ヶ根東3	1:58.43PB	4
1500m	横川 愛翔	大町3	4:10.93	15
	三澤 岳士	豊科北3	4.10.06	17
	小松 陽貴	筑摩野3	4:13.66	18
4×100m	安曇野AC(補欠：加藤俊多3、横内勇斗3)43.51			3
	神津 瑛亮3、花村 秀志3、板花 瑞樹3、洞 大和3			
	TR(走順は予選と同じ) 44.22			7
【女子予選・準決勝結果】				
種目	氏名	所属名・学年	記録	着順
100m	塩澤 茉莉	赤穂3	12.37(0.4)	2
			TR 12.32(11.6)PB	6
1500m	原 梨珠	赤穂3	4:35.09	3
100mH	中嶋 優佳	軽井沢A&AC3	14.46(-0.7)	2
4×100m	軽井沢A&AC(補欠：小野澤比奈矢3、塩野梨々2)48.90PB			1
	荻原 推3、荻原 怜愛3、中嶋 優佳3、大瀧 らら3			

方にかけての台風直撃により、3 日目の競技日程が変わり、15時にやっと会場に入り、18時から競技開始となり、ナイター照明の中で行われました。選手のコンディショニングにも大きく影響したと思われます。

そのような過酷な4日間の中で、四種競技においては浅間3年の長峰さん、軽井沢A&AC3年の荻原怜愛さんがそれぞれ4位入賞。女子1500mでは赤穂3年の原さんが5位入賞。そして、女子リレーでは軽井沢A&ACが、予選でも決勝でもチームベストを更新し、4位入賞しました。

沖縄県実行委員会の皆様、遠方への応援・引率・指導に関わっていただいたすべての皆様に感謝いたします。

JOC ジュニアオリンピックカップ 第56回 U16 陸上競技大会

普及強化委員会 ジュニア部長
理事 跡部 定一

三重県に会場を移し2年目を迎えた今大会、標準記録を突破し出場権を得た者、県内選手選考指定競

技会にて結果を残し県陸協の推薦を得た者と参加の仕方に違いはありましたが、『チーム長野』を合言葉に一致団結して戦えた三日間でした。

まず、ベンチワークについては、雨の中、テント設営の工夫などスタッフが協力して選手が過ごし易い環境づくりに務めることが出来ました。

続いて、結果としては昨年に続き、向山和果選手（伊那東部中3年）が女子ジャベリックスローにて優勝（2連覇）。また、佐藤晴大選手（常盤3年）が男子ジャベリックスローにて2位に入る健闘を見せてくれました。

U16は中体連種目とは異なり特殊種目が多いため、強化的な視点において難しさもありますが、各チームとの連携を密に、今後も継続的指導を大切にしていく必要があると感じました。

今大会参加にあたり、多くの皆様に沢山のご声援を頂きました。大きな力となりました。ありがとうございました。

11月からスタートする2026シーズンにむけてのジュニア部の活動の充実を図りたいと思います。

第56回U16陸上競技大会

長野県選手の結果報告

男子 NO.	実施種目	該当選手	所属	学年	記録					備考
					自己記録	予選 記録	順位	決勝 記録	順位	
1	150m	吾妻 啓志	坂城JAC	3	16.67	16.52(+1.4)	7	-	-	PB
2	110mJH (0.991m)	赤穂 一晟	佐久長聖	1	14.77	14.62(+2.3)	4	14.45(+0.2)	3	B決勝進出 PB
3	三段跳	小山 杳吾	須坂	1	12.92			12m75(+2.8)	30	
3	1000m	松宗 士織	丸ノ内	3	2:33.58	2'37"24	15			
6	ジャベリックスロー	佐藤 晴大	常盤	3	66.75			68m46	2	2位入賞 PB
7	円盤投 (1.5kg)	小松 福門	東海大諏訪	1	37.34			34m55	24	

女子 NO.	実施種目	該当選手	所属	学年	記録					備考
					自己記録	予選 記録	順位	決勝 記録	順位	
1	100m	塩澤 茉莉	赤穂	3	12.32	12.62(-0.1)	5	-	-	
2	走幅跳	柳平 想乃	ChinoAs	2	5.49			5m31(-1.0)	10	
3	走幅跳	安藤 凜	MSJAC	3	5.47			5m13(+0.4)	16	
4	砲丸投 (2.721kg)	加藤 杏	南箕輪	3	12.98			12m63	18	
5	150m	大瀧 らら	軽井沢A&AC	3	18.93	19.23(+3.2)	7	-	-	
6	100mYH 0.762m/8.50m	荻原 怜愛	軽井沢A&AC	3	14.28 14.05 U16	14.16(+1.5)	3	14.26(+0.4)	6	B決勝進出
7	1000m	原 梨珠	赤穂	3	2:54.85	2'52"21	4	2'52"39	12	決勝進出
8	ジャベリックスロー	向山 和果	伊那東部	3	53.81			50m91	1	優勝
9	円盤投 (1kg)	清水 梨乃	軽井沢A&AC	3	26.12			27m60	27	PB

[illegible]

第 74 回長野県縦断駅伝

上田東御小県 2年ぶり 4度目の優勝



霧に包まれた松本城



フィニッシュ後の上田東御小県駅伝チーム (チーム提供)

【総合成績】

順位	チーム	記録	順位	チーム	記録
1	上田東御小県	5:16:06	8	松本市	5:32:17
2	上伊那	5:16:10	9	安曇野市	5:33:58
3	長野市	5:18:37	10	飯山栄	5:34:50
4	飯田下伊那	5:18:51	11	中野下高井	5:36:22
5	全佐久	5:22:46	12	塩尻東筑木曾	5:39:55
6	須坂上高井	5:24:17	13	合同	5:44:55
7	全諏訪	5:24:37	合同:千曲坂城・上水内		

○オープン:大町北安曇 DNF

理事・道路競技部長 掛川 和彦

第74回長野県縦断駅伝は、11月16日に松本城を出発し、98.72kmを14人でつなぐ信州の秋の恒例行事として実施された。近年の区間見直しを経て安定した運営を図った一方、塩尻地域の交通安全協会支部解散により交通整理員確保が深刻化し、大会継続に関わる課題が浮き彫りとなった。

大会前には善知鳥峠付近で熊の目撃情報もあり、安全確保に向けた緊急対応を実施した。そうした難局の中でも関係者の協力に支えられ、今年は上田東御小県が2年ぶり4度目の優勝を飾り、大きな事故もなく無事終了することができた。

上田東御小県駅伝チーム監督 八反田 浩也

上田東御小県チームとして2年ぶり4度目の優勝を果たすことができました。

前回大会では大差をつけられ2位と悔しい結果でした。そこから皆が奮起し「王座奪還」を目標に、達成に向け一人ひとり強い思いで練習してきました。皆が思いを一つに、厳しい練習を乗り越えたことで、チーム力もより強固なものとなり、日々の練習、大会準備から当日まで、選手・サポート全員で戦い抜くことができました。皆で勝ち取った優勝だと思います。今回わずか4秒差での優勝ですので、連覇を目指し、更にレベルアップできるよう努力していきます。

最後に、本大会の開催にあたりご尽力いただきました信濃毎日新聞社様をはじめ、ご支援いただきました全ての皆様に心から感謝申し上げます。



【最優秀選手賞】

鈴木 丈太

(上田東御小県)

【新人賞】

男子：齋藤 空澄

(上田東御小県)

女子：田村 ここみ

(長野市)

最優秀選手賞
(チーム提供)

< 区間賞 >

区	距離km	氏名	チーム	記録
1	2.05	原 梨珠	上伊那	6:40
2	10.42	石川 晃大	須坂上高井	新32:18
3	9.00	齋藤 晴樹	全佐久	新29:16
4	10.14	山本 蒼天	飯田下伊那	30:31
5	3.04	齋藤 空澄	上田東御小県	新9:16
6	9.88	林 和輝	全佐久	29:35
7	3.25	中村 柚音	上伊那	10:15
8	7.24	越 陽色	長野市	21:58
9	6.47	下村 勇喜	上田東御小県	21:15
10	3.58	根岸 知輝	長野市	10:58
11	6.71	熊谷 駿汰	飯田下伊那	21:13
12	10.66	牛山 純一	全諏訪	新33:38
13	7.31	鈴木 丈太	長野市	24:14
14	8.97	宮下 晴貴	上伊那	28:23

2025年(7/14~11/30) 主要大会結果一覧 (まとめ 記録部長 瀧沢 佳生)

KR:県新記録、HR:県高校生新、JR:県中学生新、ER:県小学生新、CR・GR:大会新、風速の追風(+)は省略

◎184号から長野県内主要大会の結果はSDGs等紙資源節約並びに作業軽減のため割愛させていただきます。
競技会結果等は当協会ホームページにてご確認ください。https://nrk-dir.jp/result/result_2025 (代表理事 内山)

富士北麓ワールドトライアル2025

8月3日 山梨・富士北麓公園

▶GP男子110mH(1.067m)

④小口 蒼葉(法大1) 14.01(0.3)

▶GP男子400mH(0.914m)

③岡村 州紘(長野県信用組合) 49.24GR

▶GP女子100mH

⑤石川 優(北野建設) 11.80(0.9)

2025オールスターナイト陸上

(第65回実業団・学生対抗)

8月9日 神奈川・レモンスタジアム平塚

▶女子400mH(0.762m)

①南澤 明音(松本土建) 57.95

第60回全国高校定時制通信制陸上競技

8月11日~14日 東京・夢の島/駒沢リニ
ピック公園

▶男子800m

①原田 匠海(松本国際3) 1:57.02

▶男子1500m

①原田 匠海(松本国際3) 4:05.26

Athlete Night Games in FUKUI 2025

8月15日~16日 福井・福井運動公園

▶GP男子200m

⑥鈴木 慎吾(東海大2) 21.02(0.9)

木浦2025アジア投てき選手権大会

8月21日~22日 韓国・木浦

▶女子やり投(600g)

⑤倉田 紗優加(慶大3) 56.26

第60回全国高等専門学校体育大会

8月29日~30日 大分・レゾナントーム大分

▶女子200m

①小柳 梨乃(長野高専5) 27.04(-1.2)

▶女子4x100m

①長野高専(城和・小柳・加島・杉本)

51.43

第73回全日本実業団対抗選手権大会

9月26日~28日 山口・維新百年記念公園

▶男子400mH(0.914m)

②岡村 州紘(長野県信用組合) 49.80

▶女子400mH(0.762m)

①南澤 明音(松本土建) 56.51 KR

香港2025 U20東アジア選手権大会

9月27日~28日 中国・香港

▶男子110mH(0.991m)

③小口 蒼葉(法大1) 13.42(3.4)

▶女子5000m

②真柴 愛里(長野東高3) 16:44.83

第41回U20日本陸上競技選手権大会

9月27日~28日 静岡・草薙総合運動場

▶男子110mH(0.991m)

③相場 遥心(佐久長聖高3) 13.57(0.7)

※予選 13.52(2.0) HR

▶男子3000mSC(0.914m)

③岸本 莞爾(長野日大高3) 8:56.67

▶女子200m

③中村 波南(佐久長聖高2) 24.20(1.6)

HR

⑧宮澤 希(佐久長聖高2) 24.52(1.6)

▶女子400m

②鎌倉 梨々華(佐久長聖高2) 54.51HR

▶女子5000m

⑥田畑 陽菜(長野東高3) 16:35.14

⑦今井 玲那(長野東高2) 16:39.22

▶女子100mH(0.838m)

④阪 真琴(佐久長聖高2) 13.81(-0.3)

▶女子走幅跳

②大森 玲花(佐久長聖高3) 5.98(1.7)

▶女子三段跳

⑤大森 玲花(佐久長聖高3) 12.39(-1.3)

▶女子円盤投(1.000kg)

⑥北沢 真輝(松本国際高3) 43.49

日本マスターズ 選手権2025福岡大会

10月4日~5日 福岡・博多の森

▶M45 200m

①矢澤 悠哉(諏訪市陸協) 23.47(0.4)

▶M80 200m

①天沼 昭彦(長野マスターズ) 31.89(-1.7)

第19回U18陸上競技大会

10月17日~18日

三重交通Gスポーツの杜伊勢

▶男子3000m

⑦西澤 惟定(諏訪二葉高2) 8:23.17

▶男子3000mW

⑥小幡 千尋(飯田高2) 12:11.46

▶女子100m

④中村 波南(佐久長聖高2) 12.00(0.1)

▶女子300m

③鎌倉 梨々華(佐久長聖高2) 38.85

▶女子走高跳

⑥市川 凜子(松本国際高2) 1.62

▶女子砲丸投(4.000kg)

⑦川元 唯楓(佐久平総合高1) 12.42

東京レガシーハーフマラソン2025

10月19日 東京・国立競技場発着

▶エリート女子ハーフマラソン

⑤萩谷 楓(佐久市陸協) 1:11:59

第62回全日本競歩高島大会

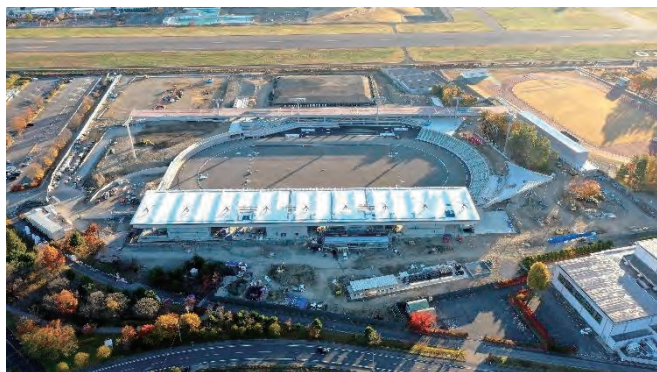
10月26日 山形・高島

▶男子高校10kmW

⑧遠藤 来希(松本工高2) 51:47

新松本平広域公園陸上競技場 2026年9月26日 竣工式の予定 (長野県建設部施設課 12/8)

竣工予定日が公表されました。完成が待ち遠しいものです。11月の状況は下記のとおりです。写真は施設課ご提供



世界陸上競技選手権・全国大会視察報告

2025 年世界陸上競技選手権視察報告

専務理事 百瀬 貴

9月13日から国立競技場で開催された世界陸上競技選手権大会に延べ4日間視察に行かせていただきました。このような機会を与えていただいたことにまず感謝申し上げます。多くの皆様もテレビ観戦をされていたことと思いますが、競技場は連日ほぼ満席で、観客の声援も凄まじく陸上の競技会でもこんなに盛り上がるのだと感動しました。男子棒高跳で世界記録が樹立されるなど、最高峰の競技が繰り広げられる国際大会でした。在り来りではありますが、陸上競技の可能性・ポテンシャルを間近に感じました。今回の世界陸上の視察を通じて学んだことを生かして、2028やまなみ国スポに向けて長野県における陸上競技の普及・強化に努めてまいりたいと心を新たにしました。

2025年滋賀国スポ視察員・協力審判員報告

専務理事 百瀬 貴

10月3(金)～7日(火)まで平和堂HATOスタジアムで開催されました滋賀国スポに視察員として、小林至常務理事と小職が参加し、協力審判員として白澤聖樹、原宏旭、藤原牧人、田澤稔、金田華実、遠藤颯、池田圭吾、永島侃、内堀俊彦、松井一陽、武居悠輔、織茂大地の審判員12名が前後半の2グループに分かれて派遣されました。特に協力審判員の皆さんは貴重な体験をされ、その経験を生かして2028やまなみ国スポに向け県内の競技会において審判業務を実践していきたいとの思いを強くされました。詳しい内容については3月15日(日)に行われる審判講習会において報告させていただきますが、感想の一部を以下に掲載します。

○若手の育成や選手の情報始め、ルール等の知識の習得が急務。また、デジタル化への対応と機器類への精通。

○商標確認も「これくらいでいいか」ではなく、「これでなきゃ認められない」という普段からの意識も大事であると実感した。

○課題として、新松本競技場では、器具を整頓する器具台が十分ではなく、特に投てき物の器具台の更新を要望していく必要あり。ルールブックでの常備を希望するものも随時増やしていきたい。

○監督会議でも質疑応答が多かったコーチングエリアや電子媒体の受け渡しについて、区画の区切り方と受け渡し方法の情報共有が曖昧であると感じた。

2025年滋賀全障スポ視察員・協力審判員報告

専務理事 百瀬 貴 友田 利男(投てき)

10月25(土)～27日(月)まで平和堂HATOスタジアムで開催されました滋賀全障スポ視察員として、

桐山競技運営委員長、細田競技部長、小林審判部長が参加し、協力審判員として内山良一、友田利男、大庭達也、林知彦、芳川千恵、小林伸広、小林至、村松卓哉、荻原信幸の9名が派遣されました。以下に友田利男投てき審判員の感想を掲載します。

今回、初めて全障スポの審判を経験させていただきました。私はこの大会では投てきの光波(プリズム)を3日間通して担当しました。

まずは競技日程についてです。通常の大会でよく見られる5分や10分刻み(例10:00開始 次の種目が10:15)ではなく、5分未満区切りの競技日程(例15:41開始、次の種目開始16:17)のため、競技中に次の選手たちがテントに誘導されてくる⇒競技終了後に次のカテゴリーの選手の練習がすぐに開始⇒終了後競技開始の繰り返しで競技が進みました。3班で交代しながら基本的には競技の空き時間が全くなく、2日目は8:30～18:00過ぎまでこの繰り返しが続くピットがあるなど日程的にはタイトな競技日程でした。

1班の人数は6名体制(班長・主審、痕跡、記録・呼び出し、記録情報、タイマー・副審、プリズム)でした。長野陸協との大きな違いは記録情報と光波(プリズム)が投てきの一部署として配置されていることでした。また班に所属しない主任・副主任は、誘導されて来た選手への練習方法・競技方法の説明、トラブル等が起きた時の対処等を行っていました。審判員の人数的に2班が適正では、と最初は思いましたが、2種目同時展開で行わなければならない競技日程から考えると3班体制で行うことは必須であると感じました。

実際に競技が始まると、人数の関係上、記録担当が呼び出しを兼任しているため、選手の誘導に時間がかかってしまい、結果的に競技時間が延びることに繋がってしまっている場面もありました。特に1人が3投連続で行うソフトボール投やジャベリックスローでは、投げた選手が10mほど離れた場所までボールを取りに行く時間が必要であり、特に下半身の障害のある選手にとっては、スムーズに取りに行くのが難しい場面もありました。人数に余裕があり、呼び出しが独立していれば、もっと臨機応変な動きができたのではないかと感じました。全障スポでは記録計測以外の競技役員の果たす役割が他の大会よりも大きいと感じました。

滋賀陸協の方から今大会は審判員の確保が難しかったという話を伺いました。スムーズな大会運営のためにも、審判員確保の重要さを感じた大会でした。

最後になりますが、この報告が2028年全障スポの参考になれば幸いです。

会議録8/1～12/10（まとめ：小穴 智恵美 理事・事務局次長）お知らせ

第94回理事会 2025年8月9日(土)15時～17時

場所：ホテルモンターニュ松本

出席者：理事26名、理事以外の出席者3名、監事：2名

I. 協議事項 <全ての議案は原案通り承認された。>

第1号 滋賀国スポ長野県選手団(案)

第2号 終了した大会の反省(案)

第3号 第41回全国小学生長野県選手団(案)

第4号 2025 Jumping Festa in NAGANO-OCS要項修正(案)

第5号 県混成競技会要項・オースタム記録会(案)

第6号 第19回北信越中学校駅伝大会要項(案)

第7号 県障がい者大会について(案)

第8号 長野陸協創立80周年記念事業について(案)

第9号 2026松本マラソンについて(案)

第10号 第27回全障スポ大会リハーサル大会会期調査(案)

第11号 2026-27年度日本陸連全国区域技術役員の推薦(案)

第12号 第82回国民スポーツ大会競技会会期最終調査(案)

第13号 長野陸上競技協会事務局員時給について(案)

第14号 小澤虎雄氏の特別表彰について(案)

II. 報告事項

1. 2025年度栄章候補推薦について

2. 県縦断駅伝について

3. 全国高校総体の結果

4. 北信越中学の結果

5. 全日本中学出場者一覧

6. 新松本平広域公園陸上競技場について

7. ジュニアコーチ養成講座について

8. 長野陸協年代別審判員数について

9. やまなみ国スポ意向調査について

10. 東海選手権競技実施方法の変更について

11. 県陸協としての暑熱対策について

12. その他

1) 高体連の登録料について

2) ブロンズレフェリーの合格者について

3) 世界陸上に関わる本協会の審判員について

4) ブロンズ競歩審判員について

第95回理事会 2025年11月22日(土) 15時～18時

場所：長野市営陸上競技場

出席者：理事22名、理事以外の出席者1名、監事：1名

I. 協議事項 <全ての議案は原案通り承認された。>

第1号 2025年度事業中間報告(案)

第2号 2025年度一般会計中間決算・選手育成強化基金(案)

第3号 2025年度一般会計決算第二次補正予算(案)

第4号 2025年度栄章各種候補者(案)

第5号 2025年度各種競技会の反省

第6号 2026年度競技日程(案)

第7号 2026年度以降のアスリートビブスナンバー(案)

第8号 審判員S級昇格者について(案)

第9号 2026青森国スポの協力審判員等派遣計画(案)

第10号 2026青森全障スポの協力審判員等派遣計画(案)

第11号 2027年度以降の県陸協HPの運用(案)

第12号 クラブ(小・中学生対象)の継続申請・資格等について(案)

第13号 長野マラソンの長野陸協分担、組織、役割分担(案)

第14号 アスレティックス・アワードについて(案)

第15号 やまなみ国スポに向けた要望について(案)

第16号 2028やまなみ国スポ競技役員編成等(案)

第17号 2028全障スポリハーサル大会期日について(案)

第18号 長野県縦断駅伝競走大会について(案)

第19号 北信越中学駅伝競走大会について(案)

II. 報告事項

1. 滋賀国スポ報告

2. 審判講習会について

3. 新競技場工事進捗状況について

4. 松本マラソンについて

5. アスリート相談窓口に寄せられた意見について

2025年度 ご協賛者一覧 ご協賛に心から感謝申し上げます (12月10日現在 順不同・敬称略)

【共 催】 信濃毎日新聞社 / (公財) 信毎文化事業財団 / 信越放送(株)

【ゴールドスポンサー】 しなのメイト(株) / ミズノ(株)

【横断幕】 コトヒラエ業(株) / (株)丸山商店 / 菅公学生服(株)

【支 援】 (公財)ながの観光コンベンションビューロー

【バナー広告】 (株)杏花印刷(Nsports)/ 奥アンツーカ(株)/ (株)山下フルーツ農園/ 信越放送(株)/ (株)ニシ・スポーツ
(株)本久/ セイケンハウス(株)/ マット(株)/ 芝上建設(株)/ 三水丸山農園/ (一社)日本マラソンプロデュース協会
<SIZE:小> (株)リッチエード/ セイコータイムクリエーション(株)/ (有)シナノ体器

【プログラム広告】

◆プログラム広告 中扉相当: あいおいニッセイ同和損害保険(株)

◆プログラム広告1ページ相当: (株)アンドー / 松本土建(株) / (株)杏花印刷 / プレステージ(株) / 長谷川体育施設(株)
日本体育施設(株)(関東営業所) / (株)スズキ自販長野 / 菅公学生服(株) / (株)中嶋製作所 / (株)ATHREE CANVAS

◆プログラム広告1/2ページ相当: / 中野土建(株) / (株)王滝 / 日本道路(株)北信越支店 / 矢木コーポレーション(株)
(株)スマイルハウス / (株)セイブ / 松本ガス(株) / シンコースポーツ(株) / (有)小穴工業 / (株)クレーマー・ジャパン
(株)ホテルモンターニュ松本 / (株)アイワ徽章 / (株)信州冷機 / CRONOS(クロノス) / (株)信越ワキタ / 清水建設(株)
クリントン / (株)長野ホテル犀北館 / 東武トップツアーズ(株) / (株)タヤマスポーツ / (株)アクティブライフ / 松本大学
(株)フォトフリース

【賛助会員】 (株)AS / (株)昭和設計 / 長野県遊技業協同組合 / (株)フォトクリエイト / 信教印刷(株) / (有)鯉住
(株)つばくろ電機 / 端広庵 / 長野カイロプラティックセンター / (株)あずさライフ総合保険 / (株)コントリビュート
(株)ヨコブリン / 日本装置開発(株) / 長野県信用組合

お知らせ

①松本広域公園陸上競技場竣工式は**2026年9月26日**の予定が県建設部施設課から公表されました。県高校新人、北信越高校新人での借用が可能となりました。当協会事務局も競技場内に借用予定です。

②2026世界クロカンに**吉岡さん、真柴さん出場決定**
タラハシー2026世界クロスカントリー選手権大会

■開催日程：2026年1月10日（土）

■開催都市：タラハシー（アメリカ）

【シニア男子：6名】10kmは4名

吉岡 大翔 順天堂大学3年(佐久長聖高校出身)

【U20女子：6名】6km

真柴 愛里 長野東高校3年

③審判講習会 2026年3月15日（日） 8:30～15時予定
会場 松本大学 審判登録者はご出席願います

④長野陸協アスレティックス・アワード2025 開催

萩原 清 会長 秩父宮章受章祝賀会

2025栄章受章者授与式・滋賀国スポ天皇杯6位、皇后杯2位祝賀会、(駅伝祝賀会)を含む

期 日：令和8(2026年) **2月11日(水・祝日)**

授与式：11時開始(受付10:30～10:50)

祝賀会：12時30分～15時予定(受付12:00～12:20)

会 場：長野ホテル犀北館 THE SAIHOKUKAN HOTEL

会 費：お一人 10,000円(記念品代を含む)

その他：**出欠は1月22日(木)まで**にお願いします。

次のURL、下のQRコードをご利用下さい。

<https://forms.gle/dDcfsFKBSZur3UcC7>

または事務局へ連絡下さい

Fax 0263 (50) 6881

電話 0263 (31) 3788



これからもっと、
私はスポーツを楽しむんだ。

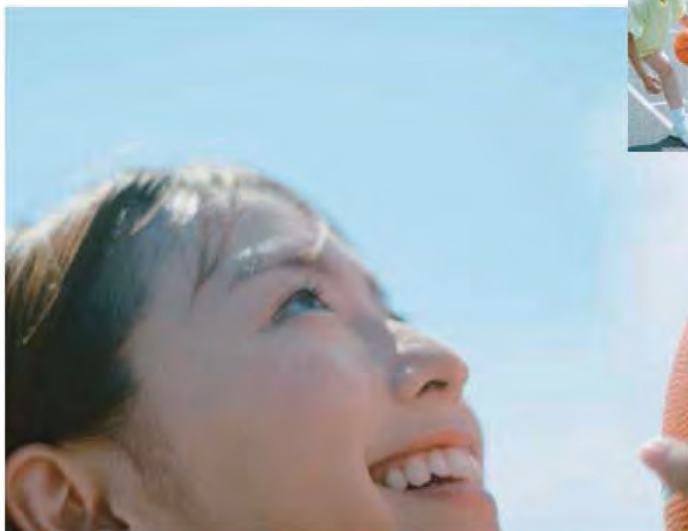
卓球歴24年。バスケ歴1日。

卓球の200倍もの重さがあるボールは、
なかなか言うことを聞いてくれない。

それでも、体を動かすだけで気持ちがいい。

初対面でもあつという間に仲間になれる。

競技人生での楽しさとは違う、
スポーツの楽しさに出会えた。



スポーツを極める人も、楽しむ人も、
すべての人のために、
スポーツくじの収益は使われています。

スポーツくじ   

スポーツくじは、スポーツと人を育てる仕組み。

19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター

お悔やみ (2025/7/31 ~ 2025/12/10)

陸上競技並びに本協会発展のために、永年
にわたる多大なるご尽力に感謝申し上げます。
謹んで哀悼の意を表します。

	逝去者	支部	逝去日	享年
会 員	茂手木 聡様	飯伊	8.19	60
元副会長	小口 正行様	長野市	10.23	91
元会員	西片 功 様	長野市	11.20	90
会 員	相場 賢二様	上田	11.29	60
会員・参与	宮坂 繁 様	諏訪	12.05	87

***** 第185号 もくじ *****

- | | |
|-------------------|----------------|
| 2 栄章受章者 | 13 主要大会結果一覧 |
| 4 Jumping Festa | 14 世界陸上・大会視察報告 |
| 6 東京2025世界陸上-審判業務 | 15 会議録・ご協賛企業一覧 |
| 7 全国大会・県縦断駅伝結果 | 16 おしらせ・お悔やみ他 |

〔編集後記〕上位各県僅差の滋賀国スポの県選手団活躍は素晴らしかった。競技力・競技運営力向上は着々と準備を進めています。が、「集客」は大きな課題です。世界陸上の盛り上がりや如何に繋げるか。不安定な世界情勢、物価高騰、短い秋、熊騒動等々不安や悩みは尽きませんが、事務局一同走って・走って・走って取り組んでいます。駅伝シーズンもよろしくをお願いします。(代表 内山)

◆発行 (一財)長野陸上競技協会 <https://nagano-rk.com/>

◆編集 代表理事・業務執行理事・事務局・理事会